

医療安全情報 レポート

vol.31

働くみんなの医療安全

マスク着用によるコミュニケーションエラー

コロナ禍の今、誰もがマスクを着用しています。相手の口元をみても話している内容がよくわからずに目が合っているだけで「大丈夫!!」と医療者側が勝手に相手が理解していると勘違いしていませんか？

顔が見えにくい、声が聞き取りにくいことにより、患者・家族の誤認がマスクを着用することで増えています！皆さんの施設ではどのような誤認防止対策をしていますか？



名前・生年月日を
教えてください。

患者・家族の基本的確認

- 患者さんから名前・生年月日を名乗ってもらう
- 患者さんと家族の関係等を確認する

照合も忘れずに!!



診察や病状を説明している患者さんとカルテは一致していますか？

確認してから診察、介助、検査誘導等を行いましょう。

基本的な確認方法はどのように行っていますか？

コロナ感染拡大防止のためマスクを着用していますが、どんなことがあっても患者さんの確認をしましょう。

診察前の一言が肝心です。最初につまずいてしまうと、エラーが重なり気付いた時には重大な事故に繋がります。

患者さん・ご家族が安全に診察等を受けられるように私たちはいつも確認することを忘れないようにしましょう!!